

## 精神科病院と心療内科医師を中心としたネットワーク会議

### ＝精神科専門医集団からの情報発信＝

(実施期間) 平成 23 年度～現在 (基金事業メニュー)  
強化モデル事業

(実施経費) 平成 26 年度 446 千円 (実施主体)  
( 446 千円 ) 兵庫県北播磨県民局加東健康福祉事務所

#### 【事業の背景・必要性】

加東健康福祉事務所が所管する北播磨圏域の自殺率は平成 18 年以降国や県の自殺率を上回っており、男性の自殺者は 75%を占め、また 70 歳以上の高齢者の自殺者数も 26%と多いことが課題である。

当所は 5 市 1 町の自治体を所管し、医師会数及び関係機関も多いことから、自殺予防対策に重点を置いた関係機関ネットワーク会議を設置する必要性を実感しつつも設置に至っていなかった。

そこで、平成 23 年度に精神科の専門医のヒアリングを実施したところ、精神科の専門医集団としてのネットワーク会議の設置に強い希望があった。このニーズを吸い上げる形で標記会議を立ち上げ、精神科の専門医集団との連携を図りやすくするためのリーフレットを綴じ込んだファイルを制作し、かかりつけ医との連携を強化し、圏域における自殺予防対策の推進を図ることとした。

#### 【地域の特徴・自殺者数の動向】

地勢：兵庫県の中央部に位置し、平野部に恵まれ気候も温暖である。

南は神戸市、西は姫路市、北は丹波市に接する 5 市 1 町の広域である。

産業：山田錦の作付面積は全国有数で、果樹栽培も盛んである。

交通：JR、神戸電鉄、北条鉄道があるが単線であり、国道 175・372

号中国自動車道と山陽自動車道などが要である。

精神科医療機関：精神科病院 2 箇所、一般病院の精神科 3 箇所

精神科・心療内科診療所 7 箇所

自殺者数の動向：平成 23 年～25 年の 3 ヶ年平均の自殺者数は 65.3 人。

自殺率は、23.4 (人口 10 万対：人口動態統計による)

で、国・県平均を上回っている。(管内人口：227,823

高齢化率：27.7%)

平成 26 年 2 月 1 日現在



#### 【事業目標 事業内容】

平成 23 年度から以下の事業を実施した。

年度	事業目標	事業内容	ネットワークでの精神科医師の協力
平成 23 年	ネットワークの基盤作り	管内の精神科・心療内科医へのヒアリング調査	1.各医療機関の診療内容などの整理 2.相談事業など日常業務への協力
平成 24 年	ネットワーク会議の設置	「管内精神科・心療内科医連絡会」の立ち上げ	連絡会への参画の他、既事例検討や市町の行う自殺予防事業への協力

5 適切な精神科医療を受けられるようにする①

平成 25年	かかりつけ医 に向けての情 報発信	1.「うつ状態・うつ病の早期発見と対応」 ファイルを作成し、管内の医療機関に 配布 2.自殺未遂事例の検討	1.ファイルの内容への助言 2.自殺未遂事例など処遇困難事例の診 療協力、介入への助言 3.当所及び市町事業への協力
平成 26年	・管内病院の 自殺予防対策 の実態調査 ・自殺の実態 の把握	1.管内の一般病院の自殺予防対策に ついて実態調査 2.管内の自殺の実態と当所及び各町の 取組をまとめた「北播磨の自殺の実 態と取り組み」の発行	1.実態調査の内容及び結果の分析への 助言 2.自殺の実態把握についての助言 3.処遇困難事例への介入助言など日常 的な連携、協力

**【事業実施にあたっての運営体制】**

- ・「管内精神科・心療内科医連絡会」は毎年1回開催。精神科病院医師・心療内科医師11人を委員とした。
- ・議題は管内の自殺予防対策に関する課題が主で、未遂事例の検討やアルコール問題についても協議。
- ・一般内科と精神科連携のあり方等、地域の精神保健福祉の課題について協議。

**【事業の工夫点】**

平成24年度から毎年開催しているネットワーク会議は、多くの医師が参加可能な日程を確保した。ネットワークができたことで、普段から自殺未遂事例など処遇困難事例の診療の協力や介入への助言などを受ける等、日常的な連携を行うことができるようになった。また「うつ状態・うつ病の早期発見と対応のリーフレット」の作成経緯の中で、会議外でもFAX等のやりとりでネットワーク会議のメンバーの意見を聴取するように努めた。特に「感情障害」の診断を受けたケース対応については専門医師から多くの助言を得ることができた。

「北播磨の自殺の実態と取り組み」(冊子)作成においては、委員の意見を参考にして自殺の実態の他、当所と各市町の取組について過去5年に遡りまとめた。

北播磨管内の一般病院(精神科病院を除く)の自殺予防対策実態調査の実施においては、設問を作成する段階からネットワーク会議の委員の意見を聴取し、自殺予防対策のみならず院内の自殺事故についても調査した。一般病院で積極的に医療安全として自殺予防対策に取り組まなければならないという意識が高まった。

**【事業成果及び評価、今後の課題、その他特筆すべき点】**

ネットワークができたことで、日頃から連携強化が図れるようになり、自殺未遂事例など緊急で課題の大きい事案も地域で支える体制が出来たことが一番の成果である。

1. ネットワーク会議では、参加する医師が自殺未遂事例などを持ち寄り、管内の自殺未遂事例の対応状況が把握できるようになった。その延長線で管内病院の自殺予防対策実態調査を行うことになった。内科的な診療を主としている医師から、「精神対応は困難、専門の先生も悩んでおられるのを知って救われた」という意見が出るなど和やかな雰囲気会議が進んだ。
2. かかりつけ医との連携の課題(かかりつけ医から専門病院への紹介の時期が遅いなど)も見えてくるようになり、その結果としてファイルの作成などに取り組み、情報発信ができる体制が出来てきた。

5 適切な精神科医療を受けられるようにする①

3. 管内の自殺問題を話し合う精神科専門医集団のネットワークの基盤ができた。
4. 管内病院の自殺予防対策の把握が出来た。精神科専門医が分析に加わったことで過量服薬への対応など地域での課題の有無が見えてきた。
5. 自殺実態や取組の冊子は、参加者が地域の自殺の実態を身近に理解することに繋がった。
6. 今後の課題は、ネットワーク会議に各市町が参画する等、いかにネットワークの拡充を図るかという点にある。

(問合せ先) 兵庫県北播磨県民局 加東健康福祉事務所地域保健課  
TEL: 0795-42-5111(代表) E-mail: katokf/pref/hyogo@hyogo